

3Dダンス学習支援教材の作成に向けた予備調査—ダンス部活動の実態と課題—

鈴木 純 (Suzuki Jun) 東北文教大学短期大学部

【背景・目的】

近年では、ICT機器や動画サービスの普及に伴い動画からダンスを学習することが身近となり、それらを用いた授業や部活動の実践事例も多く存在する。しかし、現在主流の2D動画は、動きの方向性や奥行きを読み取ることが難しく、部員の動きを見ると、平面的で躍動感のないダンスになっていることが多く課題に感じていた。さらに、指導者側の課題として、ジャンルの多様化や怪我、年齢、出産・育児などの何らかの理由により、ダンス専門の指導者でさえ教えられない動きが多くあることも想定される。それらを背景に、本研究では(株)ニコンおよびプロダンサーと協力し3D映像技術「volumetric video」を用いたダンス学習支援教材の作成を目指し、調査や実験を重ねている。鈴木(2023)では、予備実験を経て6つのサンプルコンテンツを作成したことや、高校・大学ダンス部部員を対象に実施した予備調査の報告を行った。2022年度に作成した第1弾のサンプルコンテンツでは、リズム系・表現系のダンスで活用することを念頭に、<コンディショニング・エクササイズ><ウォーミングアップ><アイソレーション・ヒット><リズム・ステップ><フレーズ><インプロビゼーション>など1コンテンツあたり30秒~6分程度のものを作成した。しかし、学習者の身近なデバイスで再生することを踏まえると、データの重さや3D再現精度、BGMの問題など様々な課題が浮き彫りとなったため、コンテンツ内容も含めて再検討し、改めて第2弾のサンプルコンテンツを作成することとした。その際、筆者らが感じた課題のみならず、現場の指導者やダンス部員の声も参考にしたいと考え、予備調査の実施に至った次第である。また、鈴木(2023)の予備調査で対象としたダンス部部員はいずれも筆者が指導するダンス部であったため、それ以外のダンス部の実態や意見も反映したいと考え、対象を拡大しデータの蓄積を行うこととした。

以上のことから今回の予備調査では、ダンス部における実態と課題を明らかにし、3Dダンス学習支援教材の作成に向けた一資料を得ることを目的として実施した。なお、本発表では、予備調査から抜粋した結果と第2弾サンプルコンテンツの進捗状況を報告することとする。

【研究方法】

(1) 研究時期・対象

2022年・2023年9月、以下の4校のダンス部を対象にGoogleフォームによるアンケート調査を実施した。さらに、B校およびD校には顧問にも別途アンケート調査を実施した(A・C校は筆者が顧問・コーチのため対象外とした)。

- ・高校ダンス部A校(32名)2022年度実施
- ・高校ダンス部B校(21名)2023年度実施
- ・大学ダンス部C校(4名)2022年度実施
- ・大学ダンス部D校(6名)2023年度実施

(2) 調査内容

I 指導者対象の調査

大項目	小項目
基本属性	氏名、学校、性別、専門種目、指導体制、部員数
日頃の練習について	練習頻度、ジャンル、基礎練習、かかわり、環境・指導上の課題 教えられない動きとその理由
ICT機器の使用状況	使用頻度、使用機器、使用場面、メリット・デメリット
3Dダンス教材について	3Dコンテンツ要望、活用してみたいか どのように活用したいか

II ダンス部員対象の調査

大項目	小項目
基本属性	学年、氏名、ダンス経験
日頃の動画利用について	動画利用頻度、動画内容、動画から知りたいこと、使用ツール、PCソフトウェア、使用機能、動画学習の困り感
3Dダンス教材への関心について	3Dダンス教材使用によるダンスへの意欲・関心、ダンスが上達しそうか、使用してみたいか、希望金額
3Dダンス教材の機能について	言語レクチャー、モデル表示、背景表示、機能要望
その他	活用方法、希望コンテンツ、ダンス以外の希望コンテンツ、普段の部活における困り感や課題

(3) 分析方法

選択肢回答については単純集計またはクロス集計、自由記述についてはKJ法による分析を行い、その結果から実態や課題について考察する。

【予備調査結果】

I 指導者対象の調査

II ダンス部員対象の調査

結果については調査項目を抜粋して当日報告することとする。

【第2弾サンプルコンテンツの進捗状況】

課題や要望を基に、第2弾では以下の4コンテンツを撮影。当日ポスター前にて第2弾のサンプルコンテンツを展示予定。

<リズム系ステップ><ブレイク系フロアムーブメント><リフト><アクロ・ジャンプ系>

<引用・参考文献>

・鈴木純(2023)3D映像技術を用いたダンス学習支援教材の作成—サンプルコンテンツの作成と予備調査報告—東北文教大学・東北文教大学短期大学部教育研究第13号、pp77-95.